

3 土砂災害について

土砂災害は、毎年降雨時期及び雪解け時期に多く発生し、被災地域が比較的狭い範囲に限られる割に、被災者の死傷率が高く、人家などに壊滅的な被害を与えることの多い災害です。平時より土砂災害の前兆現象に注意をはらい、地域ぐるみの災害対応が適切に行えるようにしておくことが求められています。

胎内市の特徴

- ・山間地や急傾斜地周辺に多くの集落が散在しており、土砂災害による被害を受ける恐れのある地区が極めて多く存在しています。
- ・山崩れなどによる道路寸断により、孤立状態となる地域が発生する可能性があります。



土砂災害の特徴と主な前兆現象

土石流

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒に、津波のように襲ってくるものを「土石流」と言います。



主な前兆現象

- 山鳴りがしたり立木の裂ける音、ドーンという音やゴロゴロという音がする。
- 雨が降り続けているにもかかわらず、川の水が急に減り始める。
- 川の水が急に濁ったり、流木が混ざり始める。

急傾斜地の崩壊

傾斜度30°以上である土地が崩壊することで、地震や大雨・長雨で水がしみこむことによって起きる災害です。



主な前兆現象

- 小石がバラバラおちてくる。
- 斜面に割目ができる。
- 斜面から水がわき出す。

地すべり

地下水が粘土のような、すべりやすい層にしみこんで、そこから上の地面がそっくりすべりだすのが「地すべり」です。



主な前兆現象

- 地面にひび割れができる。
- 地面の一部が陥没したり、隆起したりする。
- 池や沼の水かさが急に変わる。

雪崩について

※新潟県パンフレット『とってもあぶない「なだれ」の話』より作成

土砂災害が発生しやすい急な斜面は、冬季に雪崩も発生しやすい箇所です。斜面に雪崩の前兆が現れたら、土砂災害同様に避難の準備をお願いします。

主な前兆現象

- 山の尾根からの雪のはり出し。(雪庇^{せっぴ})
- 雪崩予防柵からの雪のはり出し。(巻だれ)
- 斜面に、元の地形がわからないほど平らに雪が積もる。
- 斜面をコロコロ落ちてくるボールのような、雪のかたまり。(スノーボール)
- 斜面にひっかきキズがついたような、雪の裂け目。(クラック)
- ふやけた指先のような、しわ状の雪の模様。

! 急な積雪に注意

新しく積もった雪の層がすべり落ちる、表層雪崩が起こる危険があります。

! 急な気温上昇に注意

積もった雪が全てすべり落ちる、全層雪崩が起こる危険があります。



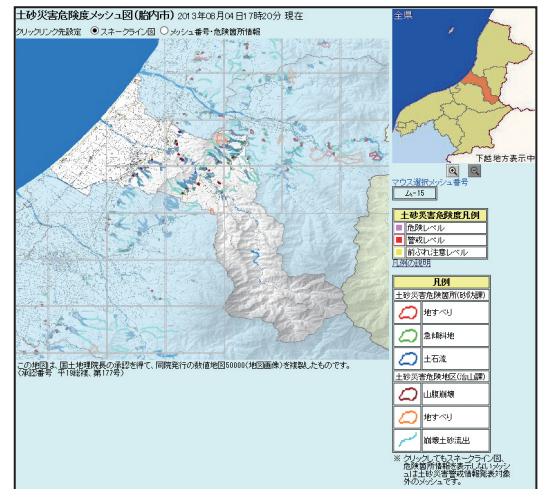
避難のポイント

孤立状態が予想される地域の方は、最低7日分の食料などの備蓄が必要です。また、日頃から前兆現象や天気予報に注視し、以下の場合はすみやかに避難を開始してください。

ホームページも確認しましょう！

■土砂災害警戒情報システム

<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/>



①土砂災害の前兆現象があった場合

すみやかに胎内市が警察にご連絡ください。

②土砂災害警戒情報で警戒レベルが出た場合

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

③避難勧告・避難指示が出た場合



やむなく土砂災害に遭遇した場合

土石流は速度が速いため、飲み込まれてしまわないように土砂の流れる方向に対して直角の方向に逃げるようにしましょう。

土砂災害ハザードマップの見かた

新潟県が調査した土石流と急傾斜地の危険箇所を表示しています。地震による影響は想定していないため、住民の皆さまは、日頃から危険箇所の位置確認とその状況を把握し、前兆現象を確認したらすばやい避難や危機回避の行動をとるよう心がけてください。

1 自宅の位置と土砂災害危険箇所の色を確認。

色が付いている場合	避難や危機回避の行動が必要です。
 警戒区域	土砂災害発生時に、生命又は身体に危害が生じる恐れがあります。
 特別警戒区域	建築物に損壊が生じ、生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがあります。
色が付いていない場合	自宅待機でも可・避難準備は必要。

2 避難所へのルートと色を確認。

色が付いている場合	避難ルートを確認して、早めに避難してください。
色が付いていない場合	慌てずに避難所へ避難してください。 念のため、複数の避難ルートも想定しておきましょう。

3 外出先として、「よく行く買い物先」や「職場」、「親戚・要援護者宅」についても同様に①と②を確認しましょう。

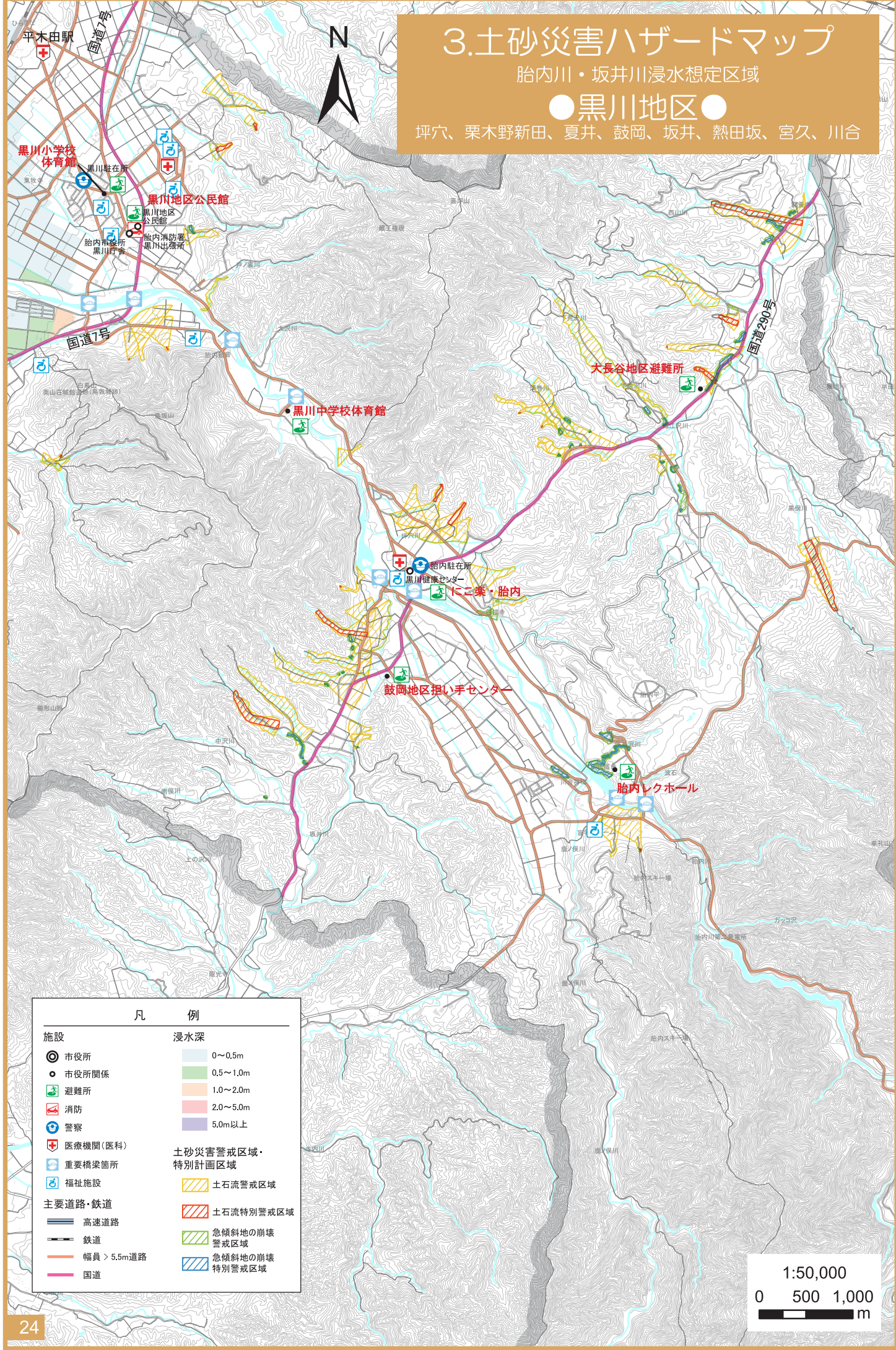
※要援護者となる方は、支援者と一緒に確認しましょう。

3.土砂災害ハザードマップ

胎内川・坂井川浸水想定区域

●黒川地区●

坪穴、栗木野新田、夏井、鼓岡、坂井、熱田坂、宮久、川合



凡 例

施設	浸水深
● 市役所	0~0.5m
○ 市役所関係	0.5~1.0m
🏠 避難所	1.0~2.0m
🚒 消防	2.0~5.0m
🚓 警察	5.0m以上
🏥 医療機関(医科)	
🌉 重要橋梁箇所	
♿ 福祉施設	
主要道路・鉄道	土砂災害警戒区域・特別計画区域
🛣️ 高速道路	🟡 土石流警戒区域
🚆 鉄道	🔴 土石流特別警戒区域
🛣️ 幅員 > 5.5m道路	🟢 急傾斜地の崩壊警戒区域
🛣️ 国道	🟠 急傾斜地の崩壊特別警戒区域

1:50,000

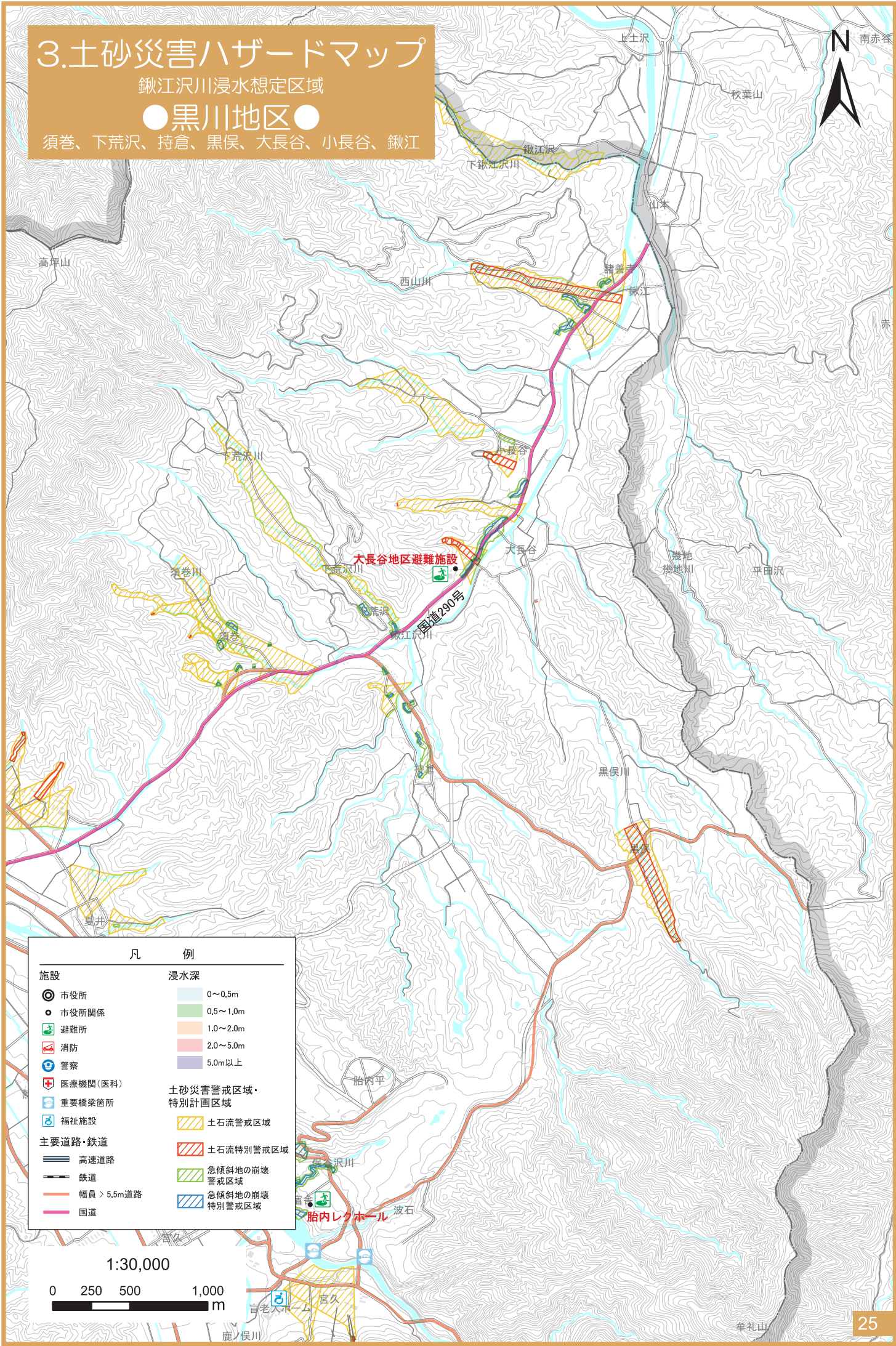
0 500 1,000 m

3.土砂災害ハザードマップ

鍬江沢川浸水想定区域

●黒川地区●

須巻、下荒沢、持倉、黒俣、大長谷、小長谷、鍬江



凡 例	
施設	浸水深
● 市役所	0~0.5m
● 市役所関係	0.5~1.0m
● 避難所	1.0~2.0m
● 消防	2.0~5.0m
● 警察	5.0m以上
● 医療機関(医科)	
● 重要橋梁箇所	
● 福祉施設	
主要道路・鉄道	土砂災害警戒区域・特別計画区域
— 高速道路	土石流警戒区域
— 鉄道	土石流特別警戒区域
— 幅員 > 5.5m道路	急傾斜地の崩壊警戒区域
— 国道	急傾斜地の崩壊特別警戒区域

